

日本共産党

# 青森県議団 だより

No.134

2022年6月議会 6月2日～17日

2022年9月議会 9月21日～10月11日

日本共産党青森県議団

団長

弘前市区  
選出

安藤 はるみ



副団長

八戸市区  
選出

松田 まさる



幹事長

青森市区  
選出

よしまた 洋



8月

記録的な大雨で、  
県内各地に甚大な被害

## 総力あげて復旧・復興へ

8月3日と9日、連続して記録的な大雨が降り、県内各地に大きな被害を及ぼしました。党県議団は、高橋ちづ子衆議院

議員や市町村の党議員とともに現地視察を行うなど、実情をつかみ、国・県・自治体に要望を届けてきました。

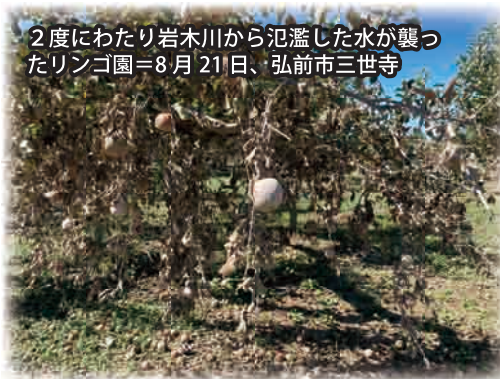
8月4日、よしまた県議は、藤嶋川が氾濫し大量の流木や土砂が住家を飲み込んだ外ヶ浜町三厩を視察(写真下)。原芳雄、安藤英博両町議と



藤嶋川から流れてきた流木が家の壁をつきやぶる被害に=8月4日、外ヶ浜町三厩

もに住民の要望を聞き、ただちに町に対して災害ゴミの対応などを要望しました。

岩木川沿いのリンゴ園地には、3



2度にわたり岩木川から氾濫した水が襲ったリンゴ園=8月21日、弘前市三世寺

日と9日の2度にわたって水が襲う事態となりました。安藤県議は、高橋衆院議員らとともに同月7日の現地視察に続き、繰り返し現地を訪問(写真上)。農家のみなさんから園地の移転を含む今後の要望を聞き、国・県に対応を迫っています。

党県議団は同月13日には、高橋衆

院議員、千葉こうき弘前市議とともに、弘前市岩木の嶽きみ被害、同市腰巻川の状況を視察。翌14日に鱒ヶ沢町、深浦町に、21日には弘前市とつがる市で調査を行いました(写真下)。鱒ヶ沢町、深浦町、つがる市では、高橋衆院議員とともに市長・町長から要望を聞きました。



中村川の氾濫で、JRの鉄橋が折れ曲がる被害も=8月21日、鱒ヶ沢町

## 八甲田山への 巨大風力発電計画は中止を

(仮称)みちのく風力発電

### 自然破壊の事業は、再エネ促進にも逆行

八甲田山に日本最大級の風力発電施設の建設が計画されています。日本共産党青森県議団は8月29日と9月2日、この問題について、県民主役の県政の会との合同ヒアリングにとりくみました。

惣辺・奥瀬風力発電計画

### 中止求める請願が否決

9月議会に、惣辺・奥瀬風力発電事業(十和田市)に反対する請願が提出されました。自民党と公明党以外の全会派が賛成しましたが、反対多数で否決されました。

## 青森県を高レベル放射性廃棄物の最終処分地にしない

### 条例を求める 請願 自民・公明・青和 が反対し否決



市民運動の代表とともに議長(背中)に請願署名を提出する党県議団ら=9月21日

9月議会に、4万筆を超える署名とともに請願が提出されました。日本共産党は、「(最終処分地にしないという)約束を担保するためにも採択を」(安藤県議)と賛成しましたが、自民・公明・青和が反対して否決されました。

## 2022年6月議会

6月2日～17日

第310回定例議会(2022年6月議会)が開催されました。三村申吾知事から提案された議案12件、報告3件はすべて可決・同意・承認されました。また議員発議で提出された意見書4件のうち、2件は可決、2件は否決されまし

た。主な議案と各会派の態度は下部に紹介します。

日本共産党県議団は議案1件に反対しましたが、そのほかの議案・報告、意見書にはすべて賛成しました。

### 一般質問 6月9日

## よしまた県議



#### 【質問通告】

ウクライナ避難民支援について/食料増産に向けた考え方について/子どもの貧困対策について/乳幼児等医療費助成事業について/学校給食への支援について/児童の放課後対策について/若者からの県内への移住相談状況について/若者や子育て世代に対する住宅政策について/県立高等学校における校則について/公立学校における教員不足について/公立夜間中学について/特別支援学校における寄宿舎について/脱炭素社会の推進について/青森県パートナーシップ宣誓制度について/六ヶ所再処理工場のしゅん工について/新たな種類の放射性廃棄物等の本県への受入れ拒否について/米軍三沢基地における有機フッ素化合物を含む水の流出について/「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」について/県立学校における新型コロナウイルス感染症防止対策について



### 子ども医療費の無料化 県の支援をいまこそ拡充すべき

県内市町村の努力がひろがり、入院はすべてで、通院は1市をのぞいて、中卒まで無料化されています。残る1市でも無料化が拡充される方向になりました。

よしまた県議は、入院・通院ともに、全市町村が中卒まで無料となりつつある状況をふまえ、現在就学前までとなっている県の支援を拡充を求めました。永田翔健康福祉部長は「国の責任」と答えるにとどまりました。

### 質疑

6月14日



### 一部反対討論

6月17日

## 松田県議



#### 【質問通告】

コロナ禍におけるバス事業者への支援の取組等について/生活交通バスICカード導入推進事業の取組等について/特定家畜伝染病緊急防疫対策事業の取組等について/中小企業者等原油・原材料価格高騰対策事業の取組等について/物価高騰等緊急対策飲食店応援事業の取組等について/団体旅行需要の獲得に向けた取組について/青森県長期優良住宅建築等計画認定申請手数料等徴収条例の一部を改正する条例案について

### コロナ禍から交通事業者を守るため 県が役割発揮を

コロナ禍と燃油高騰のもと、バス事業者が苦境にあります。松田県議は、県の支援策を質問。東直樹企画制作部長は、「(欠損額への補助、ICカード導入支援などのこれまでの対策に加え) 高速バスについて、

1台あたり20万円の運行支援金を支給する」と答弁しました。松田県議は、「バス事業者やタクシー事業者とともにトラック運送業者への支援も検討してほしい」と要望しました。

### 豚熱の発生防止対策を

松田県議は、野生イノシシへの豚熱の感染状況を聞くとともに、養豚場の発生防止対策を質しました。



#### 2022年6月議会

### 議案等への賛否一覧 (主なもの)

	共産	自民	立民	公明	青和会	県民主役
議案1号 補正予算案	賛成 十分ではないが、子育て世帯臨時給付金や中小業者への補助拡充など物価高騰対策の方向性を評価。	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
議案7号 県病院事業条例の一部を改正する条例案	反対 県立中央病院の非紹介患者初診料を5500円から7500円に引き上げるもの。救急車で運び込まれた患者からも徴収する初診料の引き上げは理不尽。	賛成	賛成	賛成	賛成	反対
請願3号 農業資材価格高騰対策を求める意見書	賛成 原油高騰から農家を守る必要がある。	反対	賛成	反対	反対	賛成

※会派名は次の通りです。共産=日本共産党、自民=自由民主党、立民=立憲民主、公明=公明・健政会、青和会、県民主役=県民主役の県政の会

## 2022年9月議会

9月21日～10月11日

第311回定例議会(2022年9月議会)が開催され、三村知事から議案25件、報告32件が提案されました。このうち採決に付された議案19件と報告3件はすべて可決・同意・承認されました。また議員発議で提出された意見書3

件はすべて可決。請願3件はすべて不採択となりました。

日本共産党県議団は、議案2件に反対しましたが、そのほかの議案・報告、意見書は賛成し、請願はすべて採択すべきとしました。

一般質問 9月29日

### 松田県議



#### 【質問通告】

核兵器禁止条約について／知事と旧統一教会との関わりについて／ローカル鉄道の存続について／新型コロナウイルス感染症に係る保健医療提供体制について／県内企業の倒産の状況と経営環境について／コロナ関連融資制度について／県の創業・起業支援について／コロナ禍における中小企業支援について／農林水産業における原油・原材料価格高騰等対策について／八戸港沖で発生した貨物船座礁による漁業への影響について／八戸地域の漁業就業確保や後継者育成について／八戸市魚市場荷さばき施設A棟の利用促進について／原子力発電所の増設について／六ヶ所再処理工場について／看護職員の確保対策について／県内公立学校における特別支援教育について

### 統一協会との関係は？

反社会的活動を行い、「反共・反動の先兵」となってきた統一協会と政治の癒着を断つ必要があります。松田県議の質問に対し、三村知事は、「(統一協会との関係は)なかったものと認識している」と答弁しました。



### 八戸の漁業振興に尽力を

水産業を取り巻く環境が厳しくなっているなか、八戸の漁業振興についてとりあげた松田県議。「八戸市が漁業経営体制の強化に向けたとりくみ支援や水産物の販路拡大への支援などを県に求めてきた」とし、就

業者確保や後継者育成について質問しました。赤平次郎農林水産部長は、「本県独自の漁業後継者育成研修、小型船舶操縦士の資格取得に向けた講習などにとりくんでいる」と答弁しました。

質疑

9月29日



10月5日



一部反対

10月



11日

### 安藤県議

#### 被災農家が前を向ける支援を 岩木川沿いりんご園地対策について

8月の大雨により、二度にわたって樹幹浸水したりりんご園地の問題で、安藤県議は、現地調査で寄せられた声を紹介しながら「被災農家が前を向ける支援を」と質問。提案された被災園地の落下りんご・流入ごみの収集運搬処理による経費補助事業に関わり、ごみの収集・運搬・処理の実施状況を質しました。赤平農林水産部長は、「10月までには対象自治体すべてで終了する」と答えました。

#### 【質問通告(9月29日)】

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案について

#### 【質問通告(10月5日)】

核燃料サイクルに関する大臣要請の知事報告について／介護サービス事業所等サービス提供体制確保事業費補助の内容等について／樹冠浸水被災りんご園地復旧対策支援事業費補助の内容等について／青森県教育職員免許法関係手数料徴収条例の一部を改正する条例案について／青森県迷惑行為等防止条例の一部を改正する条例案について／青森県土地利用審査会委員の任命の件／特別児童扶養手当の額の認定の誤りに係る損害賠償について

### 教員免許更新制が廃止に

安倍政権のもとで導入された免許更新制が廃止に。安藤県議は、「教師の多忙化に拍車をかけ、教師不足の要因となってきた制度が廃止されたことは歓迎したい」と述べました。



2022年9月議会

### 議案等への賛否一覧(主なもの)

			共産	自民	立民	公明	青和会	県民主役
議案1号	補正予算案	可決	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
議案3号	病院事業会計補正予算案	可決	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	反対
議案12号	教職員免許法関係手数料徴収条例の一部を改正する条例案	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
請願3号	インボイス実施中止を求める請願	不採択	賛成	反対	賛成	反対	賛成	賛成

※会派名は次の通りです。共産＝日本共産党、自民＝自由民主党、立民＝立憲民主、公明＝公明・健政会、青和会、県民主役＝県民主役の県政の会

### 決算特別委員会

10月14日～18日

10月17日

### 安藤県議



## 積極的な検査で、コロナ対策を万全に

安藤県議は、2021年度の検査無料化事業の実績について質問。永田健康福祉部長は、「検査無料化事業では885件を実施し10件の陽性が判明。一般検査事業では37699件を実施し751件の陽性が判明した」と答弁しました。



### 県立図書館

## 年間2万冊を超える図書廃棄

図書の除籍が、2020年には23,536件にのぼることが分かりました。安藤県議は、「東北各県の県立図書館の除籍数（岩手621、秋田146、山形167、福島380）と比較してあまりに多い」と発言。県立図書館協議会にもはからず図書館長の一存で決められたことも問題だ、と指摘しました。

### 津軽港

## 施設使用はわずか2件

港湾施設使用料（2021年度）について安藤県議が質問。宮本健也県土整備部長は、「青森港1億700万円、八戸港2億9000万円、津軽港12万円」などと答弁。津軽港の年間利用は2件にとどまることが分かりました。

### 病院統合に関する 全員協議会

8月19日・26日

## よしまた県議



県立中央病院と青森市民病院を統合し新病院を建設する、という基本計画案が三村知事から示され、それをもとにした全員協議会が8月26日、開催されました。

よしまた県議は、日本共産党青森市議団のアンケートに、「統合によりいっそう混み合うのではないか」「（現在、県病がある）東部地域が衰退することが心配」と声が寄せられていることを紹介。「救急体制が確保できるのか」「建設予定地として、なぜ災害リスクがない場所を選ばないのか」などと質問しました。



### 新幹線・鉄道問題 特別委員会

10月7日

## 松田県議



## よしまた県議



8月の大雨で被災した鉄道の復興の課題や在来線のあり方について、新幹線・鉄道問題対策特別委員会が開催されました。松田県議とよしまた県議が、「被災を理由に、JR線の廃線は許されない」「大事な鉄道の維持のため力をつくすように」などと質問しました。

### 再処理工場 26回目の完成延期

## 核燃料サイクル路線の破綻は明瞭

日本原燃は9月7日、再処理工場の完成を延期することを県に報告しました。松田県議は9月議会の一般質問で、新たな完成時期が示されなかったことについて県の認識を質問。橋本恭男危機管理局長は「誠に遺憾だ」と答弁しました。安藤県議は9月議会の一部反対討論で、「核燃サイクル政策そのものの破綻」と厳しく指摘しました。

### 高レベル廃液の冷却機能が一次停止

重大事態として原因究明などを求める要請を7月15日、県に対して行いました（写真）。



### 1票の格差是正をただちに

## 議会改革の努力継続を

10月7日の各派代表者会議で、三橋議長は、選挙区などを現状のままに次の県議選を行うと表明しました。この間、自民党をのぞくすべての会派で、1票の格差是正や飛び地選挙区の解消について合意し、議会改革検討委員会が新たな協議の場を設置するよう答申したばかりです。